

協同組合論

東京海洋大学准教授
 濱田 武士

①



現在、政府は農協改革を進めています。もうかる農業を実現するための農協、農業に係わる事業でもうけた利益を出資者に配当できる農協になれ、というのです。けれど、この法案の内容をよく見てみれば「協同組合」という前提がすっぱりと抜け落ちています。漁協としても見逃せない内容になっています。

ならば協同組合とは何でしょうか。ここではこれについて考えてみたいと思います。

協同組合には確固たる組織原理があります。誰のための団体かという組合員のための団体で

話簡単です。漁協が漁業を仕事にしている人たちです。生協の場合は消費者、農協の場合は土地持ち農家、森林組合の場合は山林所有者です。協同組合（こどうくみあ）に、組合員の対象は変わりますが、共通することは組合

購入のためにまたお金を借りなければならぬこともありません。

大きな会社なら以上の経営活動を一括してできます。担当部署で専門の担当者がそれぞれの職務を行いますから。ですが、沿岸漁業は家族経営

ます。さらに大事なことは、この団体が非営利組織（NPO）のように協同組合も事業利用に関係なく出資配当を目的に出資できる組織にするならば法人所得税の優遇はなくなるはず。協同組合は経済的弱者のための相互扶助組織だ、というところが重要な点です。

漁業経済学が専門の濱田先生から、組合員の皆さまのために寄稿していただけることになり、今号から連載します。

販売力強化

小野秀悦専務に聞く



漁船や養殖施設などの生産基盤が震災被害からほぼ復旧した現状で、当組合は組織的、戦略的に販売力強化に力を入れ、生産物の価格上昇と組合員所得の向上を目指しています。小野秀悦専務にその道筋を聞きました。

販売力強化はなぜ必要なのでしょうか。

小野専務 組合員へのアンケートなどから、生産規模が現状のまま頭打

養殖種別の販売戦略を具体的に話す小野専務

具体的な戦略とは。

小野 ブランド化で単価が上がるだけでなく、そのためのスケジュールを作っている。ブランド化につなげよう。これまで、「宮城げんき市」の大阪でのホヤ販売などイベントをやってきたが、客寄せパンダの感があり一過性で具体化、定着できなかった。

このため、まず量販店とのパイプを太くし、売っているところでイベントを行い販売を増やしブ

量販店とのパイプ太く

ツプを図っていく上での考え方は。

小野 生産品目別の戦略、ブランド化する戦略、川下のニーズに沿った生産指導・啓蒙の3つが重要になる。

市をいろいろなところで売り出せば、これ自体もブランドとして使え役割を発揮する。

小野 ホヤは震災前、7千〜8千トが生産され7割、約5千トが韓国輸出、残り約2千トが国内販売。昨年は韓国に輸出できず、4700トが国内で消費された。水揚げ再開を待っている人も多かった。ことしは4年子と3年子で5500トの生産が見込まれる。

輸出が止まる中、内販の努力が不可欠だ。6月に県議会の先生と協力し仙台で「PRの会」を開いたが、PRを始めたのはこのごろ。昨年は川崎や大阪でボイルを食べさせ、くせがないと初めての人にも喜ばれた。食べさせ方の工夫は必要だ。

鮮度保持も以前よりよくなっているはず。

小野 いずれにしてもよりよい物を作る工夫は大切だが、バイヤーとの意見交換で消費者の需要動向を的確につかみ、生産に反映させるような努力も大事になる。各部会を通じた指導、啓蒙が中心になっていく。

組合からのお知らせ

- 〈本年度の主要な取り組み課題〉
- ① 公的支援活用等による漁業者サポートの実施
 - ② 漁業者の所得安定・向上への対応
 - ③ 漁場有効活用に向けた漁業者ニーズの掘り起こし、および漁協の業務範囲拡大等による収益基盤の拡充
 - ④ 事業本部制の運営、支所事務統合等を通じた効率的な業務運営態勢の構築・定着
 - ⑤ 適切な経費コントロールの実施
 - ⑥ 経営資源の有効活用等による組織力の強化

主要魚種の生産者および生産額の震災前(平成21年度)実績と27年度見通し
 (経営改善計画から。単位：人、百万円、%)

	平成21年度(A)		27年度(B)		(B/A)×100	
	生産者数	生産金額	生産者数	生産金額	生産者数	生産金額
ノリ	200	4,873	130	3,358	65.0	68.9
ワカメ	720	3,335	921	2,933	127.9	87.9
カキ	862	5,183	459	2,909	53.2	56.1
ホタテ	524	3,397	336	2,251	64.1	66.3
ギンザケ	75	4,416	59	4,802	78.7	108.7

通常総代会関連

当該事業年度および直前3事業年度の事業成績ならびに財産および損益の状況
 (昨年度事業報告から。単位：千円)

区分	項目	平成23年度	24年度	25年度	26年度(当期)
財務	事業利益	△872,060	431,701	511,749	940,036
	経常利益	△753,725	558,453	657,820	1,121,887
	当期剰余金	△459,103	637,706	785,933	1,421,218
	総資産	81,431,833	111,474,698	113,218,974	108,730,833
	純資産	8,083,380	8,693,115	9,425,269	10,762,365
	単体自己資本比率	23.39	20.92	22.76	26.46
信用事業	貯金	68,867,938	93,829,091	94,146,996	91,021,051
	預け金	56,760,699	77,324,833	76,286,699	77,310,069
	貸出金	14,530,473	24,101,674	26,001,556	19,758,126
共済事業	長期共済保有高	87,204,651	83,587,340	79,989,000	76,376,202
	短期共済契約高	147,007,170	34,455,900	36,409,030	38,175,120
購買事業	石油類供給高	2,370,546	4,773,222	5,245,339	3,861,196
	資材類供給高	3,560,088	14,110,761	8,269,389	6,834,497
販売事業	受託販売取扱高	7,069,275	17,225,107	21,464,205	28,757,996
	買取販売高	1,290,828	1,707,483	2,332,638	2,082,849



仙南支所・白井寿さん



小型底引近海レイ「将来に希望もてる仕事に」

仙南支所の白井寿(ひさし)さん(42)は、小型底引船に乗って十余年。幸邦丸(9・7ト)でマガレイなど近海もののカレイを獲り、春の休漁期にはイカナゴを追う。

3年前、国の制度で新造船を得た。毎日夜中の3時に港を出て、1時間半先の漁場に行き、夕方

現在副支所運営委員長である父が始めた漁業だが、あまり水揚げのよくない時期が続き、一代限りで終わるつもりでいた。しかし乗組員の都合で急ぎよ船に乗ることになり、サラリーマンを辞めたのが30歳のころだった。

前の3倍ほどに伸び、先
 の見える仕事となった。
 ときに起る値崩れが悩
 みの種だ。「天気がよく
 生
 子の娘の3人の父親。
 はもうちょっとたつてみ
 ないとわからない。た

5時ごろ戻る。「重労働で時間はキツイが、魅力のある仕事」と白井さん。

中学・高校に通うころから、父親の水揚げを手伝ってきた。工場に勤務するサラリーマン時代も巨理町で働いた。「地元がいちばん」と話す。

いまは、水揚げが震災

全国で魚が獲れると、供給がだぶついて、市場の中で魚が動かなくなると仲買さんがいうのをよく聞く。あまりシケていても漁に出られなくなり、微妙なところ」と白井さんはいう。

高校3年生と小学校5年生の息子、中学校3年

第。今後也十分な水揚げがあるように、できれば十分な時間がほしい、と白井さんは願っている。

な希望がもてる仕事となった。この先はいい方向にいくんじゃないかな」と白井さん。

活魚出荷なので、夏はいけすの水温が上がるのを避けるため氷を入れる。夏と冬の差はあるが、コストはほぼ一定。

あとは漁獲量・漁獲高次

家族のために 着ます！ 着せます！
ライフジャケット



県漁協と県海難防止協


我が家へ無事帰るための五箇条

- 1 万が一の海中転落に備える！
ライフジャケット着用・携帯電話・118番・縄梯子準備
- 2 気象、海象に注意し、無理な操業をしない！
- 3 漁ろう中や漁探中であっても見張り^{ミヅリ}は疎かにしない！
- 4 漁ろう機械使用時の安全確認、巻き込まれ事故に注意！
- 5 体調不良時は、無理に出漁しない、特に一人乗り漁船は要注意！

れ「ちゃんと着てっから」と笑顔で応える。

着ていないと恥ずかくて漁に出られないようにさえなつたというほど浜の男たちの意識を変えた、たくましくも優しい母ちゃんたちの取り組みは、今日も地道に続けられ、どんどん広がりを見せている。

組合からのお知らせ


新医療共済 

終身共済

万一の場合を一生保障し、医療共済や特約を付加することで、入・通院や先進医療の保障を受けられるほか、長生きの祝金等をお受け取りいただける共済です。


定期満期共済

一定期間中の万一の場合を保障し、満期時には満期共済金をお受け取りいただける、保障と貯蓄を兼ねた共済です。

新医療共済 


一時払養老共済

満期共済金や余裕資金を活用した資産形成と共済期間中の万一の保障を兼ね備えた共済です。

新医療共済 


中道給付共済

万一の保障のほか、ご加入後3年ごとに中途給付金をお受け取りいただけますので、旅行や趣味の資金としてご利用いただける共済です。

新医療共済 

健康に不安のある方や高齢の方むけ

健康に不安のある方や高齢の方むけで、万一の場合を生涯にわたって保障し、その保障額が共済掛金払込期間中てい増します。一生涯の死亡保障で老後のもしもに備えられる共済です。

新医療共済 

お宝

満期共済金や余裕資金を活用した資産形成と共済期間中の万一の保障を兼ね備えた共済です。

チョコ

保障ニーズによって選べるラインナップ

くらし

貯蓄をしながら建物や家財などを火災や自然災害から守る総合的な補償

カサヤ

建物や家財などを火災などから守る掛け捨て型の補償

リコー

漁船乗組員、漁業従事者などの事故による万一の場合等を保障する短期型の共済

がんばろう漁村 浜の応援団

「まじがんばっぺ東北！」

ＪＦ共済キャンペーン好評展開中

ことしも、JF共済の「がんばろう漁村 浜の応援団」の全国キャンペーンは継続中。新規契約1件につき、チヨコ100円、くらし50円を被災地3県への支援金にしています。



青水み
長（後
長（後

「G」インテグレーション・システム

療共済・匠」、子どもの教
育資金造成のための学資
共済『未来』、余裕資金



雄勝町東部支所女性部

いまや全国に
3000人超

漁業者の命を守るライ
フジャケット。以前は作
業のじゃまになるから
と、着用する人はほとん
どいなかった。そのた
め、転落事故で命を落と
す人もいた。

平成18年、海上保安署の推進員が、ライフジャケットを着用運動に協力してくれないかと、雄勝町東部支所の女性部にたまたま相談に来たのが始まり。3人が推進員に委嘱

され、「ライフガードレディース（LGL）」として活動を始めることになった。

浜を一つひとつ巡回し、着用を呼びかけた。マイクで放送したり、総会などで呼びかけたり、組合員と一緒に展示やマスコミも利用してPR。学校の有線放送で孫から呼びかけてもらったりもした。

男性が何度いつても定

浜の母ちゃんは強いから」と、当時からことし6月まで女性部長だった清水みや子さんという。あらゆる手を試していた翌年、女性部の全国交流大会で、他漁協のピンチヒッターとして急ぎよ活動を発表することになった。やっと定着しかけたところで、もっと成果を上げてから、という思いでやむなく発表したところ、水産長官賞を受賞。

雄勝町東部支所では現在100%着用している。それでも、定着には2年ほどかかった。網揚げを手伝いながら呼びかけ、各女性部員が家族に「必ず着ていかなよ」と声をかけた。チラシを1軒1軒配り、保安署と一緒に、ときには海に落ちた場合を再現した。月の半分は推進活動に費やした。

いまでは、浜回りをす



パンフレットを手に浜をまわる清水みや
子さん（名振）

みがかつき、全国
にも知られるよ
うになった。地
域の人たちも関
心をもち、県漁
協の女性部も取
り組みを開始。
運動は徐々に全
国に広まり、わ
ずか8年後の26
年には、たった
3人から始まっ
たLGLは、全

終身保障や先進医療の
保障を受けられる『新医
療共済・匠』、子どもの教
育資金造成のための学資
共済『未来』、余裕資金

の活用や資産形成と共済期間中の万一を保障する『お宝』、高齢者でも入れる『すーぱーまいるぷらん』などの種目を中心とした「チョココー」。貯蓄機能もある総合的な補償「くらし」。浜作業に使うフォークリフトの保険などを含め、

あらゆる保障を提供しています。

信用共済部・飯尾部長の話 先進医療補償など、時代に即して保険の見直しもしています。お客さまの目線で親身に相談に乗りますので、お気軽に各支所窓口までいらしてください。

浜と密着し力キPR 新しい発想で日々前へ



伏見委員長と石巻地区支所職員の皆さん

石巻地区支所 組合員297人、うち准180人。職員は6人。販売扱いは平成26年度で9億8147万円で、「半島力キ」と呼ばれる養殖の鮮力キを主体に、定置網などの漁船漁業、乾のりなど。



伏見眞司運営委員長



小野寺賢支所長

かつての7単協を統合した支所で、牡鹿半島の付け根から東南岸、田代島の11にわたる浜を管轄。平成10年には組合員数は約600人を数えていた。震災前に13人だった職員も今は6人となつてしまつたが、20、30代の若い力を中心に、浜に頻繁に足を運び、職員と組合員との信頼関係は深い。補助事業等を活用し、今までに漁船72隻、かき処理場8つを復旧、

「浜に元気が戻り、資財もそろつてきた。まさにこれから」と伏見眞司運営委員長はいう。職員は週2回各浜を回り、ときには漁業者と一緒に作業して、浜の状況を常に把握。組合員からの要望を受け付けたり購買の注文をとったり、情報提供を行っている。半島力キのおいしさを多くの人に知ってもらおうと、生産者と一緒にイベントにも積極的に参加。消費の伸びも感じられるようになった。2月

には青年部や女性部とともに、「牡蠣尽くしツアー」を実施。養殖場を船で案内し、さまざまな力キ料理を味わってもらおうというツアーは大好評で、漁業者にも、消費者の声を直接聞き、また自分の生産する力キに自信をもついい機会となった。青年部は耳つり力キの生産を始め、身入り、味ともに申し分のない良質の一粒力キをつくることに成功。今年度から販売する。また、むき力キのインターネット販売にも挑戦。さらに、良質の力キを効率よくつくる新しい養殖方法を確立しようと、三重県に先進地視察にでかけるなど、日々前に進み続けている。女性部

も、魚食の普及・食育活動とともに、ソースやオイル漬けなど、新しい食べ方の開発に余念がない。震災で養殖場は全滅したが、6月に種を拾い集めてはさみ込みを行い、12月に宮城県で一番早く処理場を復旧。翌1月には1年もので出荷した。何もかも失い然然としていた中、再びやる気を起こさせてくれたのは、泥だらけのロープや浮き樽をがれきの中から拾い集めてくれたボランティアの人たち。この人たちに早く復興した姿を見せたい、おいしい力キを食べてもらいたいという思いで必死になった。伏見眞司運営委員長はボランティアの人たちとの交

流を、今も大切に持ち続けている。「震災後、いろいろな人たちが入ってきて一緒に活動するようになり、見聞が広まった。消費者の声もきき、情報を得ることができるようになった」。課題は後継者の確保。そのためにも「組合員の生活の向上」という、基本に常に立ち返る。組合員の収益が上がれば、共済も信用事業もアップする。組合経営が順調にいくと指導や応援も充実でき、全てがよいサイクルに回り始める。漁業が、安定収入で時間的にも余裕のある、やりがいのある仕事と思えるような環境づくり、魅力ある浜づくりに力を注ぐ。

編集後記

今回の発刊にあたり浜を歩いたとき、活き活きと働く漁師の姿が目立った。この世のどんな底を見た時に、4年後に誰がこゝまで復旧できると想像したであろうか。全国からの温かなご支援、国の手厚い補助事業があり、われわれ漁業関係者は日本国民でよかったと感謝しております。

「次に叩く一回で、その壁は破れるかもしれない」こんな言葉が書かれている。

ある。毎日見ていると、なんだか心に響く。

漁師の底力を見た

この言葉はあの時からの浜の人々、漁師と重なってみえる。先がみえない中、ただひたすらに漁業の再開に向けて頑張り続け、このころ浜に笑顔が戻りつつあり、さらにこの努力は続いている。漁師の底力ここにあり。(指導部・H)

俊光支所長は笑顔を見せ、この事業に感謝する。水揚げ、販売扱いばかりでなく、早期再開に向けた施設復旧でロープなど購買事業の扱いもプラスになったといい、恩恵は大きかった。

佐々木運営委員長は「がんばるの取り組みで、共同作業は苦手で醜さもでたが、協同の意識が生まれたし必要性も分かった」と振り返る。高品質の養殖生産を目指し、それぞれの部会が話し合いを大事にして努力するほか、志津川と戸倉は漁業権が違つてもあつて切磋琢磨していると喜ぶ。

震災という逆境をバネに高品質生産を目指し漁

場を再配分して足場を築き、この英断をがんばる養殖が後押しし復興を早めた形。土台にあるのは豊かな漁場、志津川湾の育みだ。

その志津川湾ではいま、国が日本の3カ所を進める持続的な資源、環境管理の手法を開発する調査研究の対象に選定され、東京大学などが調査している。世界最大の民間自然保護団体「世界自然保護基金(WWF)」の日本支部でも震災後、漁業経済調査や養殖の環境影響調査を実施した。

佐藤支所長は「これくらい豊かな湾はないと思う。養殖ばかりではなく、カツオの餌になるイ

石巻地区 支所を訪ねて 志津川

佐々木憲雄運営委員長



佐藤俊光支所長



志津川支所職員の皆さん

志津川支所(戸倉事務所含む) 組合員776人、うち准432人。職員は臨時12人含め34人、ほかに緊急雇用11人。販売事業の総取扱高は平成26年度で販売と市場合わせ43億1900万円。養殖のギンザケ、ワカメ、カキ、ホタテの水揚げが大きい。

志津川支所の水揚げは県内屈指。昨年度の販売扱いは市場(19億2500万円)を含め43億円を超え、震災前に戻った。震災での全養殖施設流失を契機に、漁場を再配分して品質の高い養殖生産を目指し、国のがんばる養殖復興支援事業に後押しされ、成果が上がった。

佐々木憲雄運営委員長は「震災前は過密で自信を持つて売れなかった。震災後、どこにも負けない、消費者の求めるよい物を作ろうと、皆で結束して漁場の再編に徹底的に取り組んだ」と言葉に力をこめた。戸倉出張所(現事務所)は震災前の養殖施設保有実績にとらわれず、

「がんばる養殖が復興の早道になった」と佐藤

俊光支所長は笑顔を見せ、この事業に感謝する。水揚げ、販売扱いばかりでなく、早期再開に向けた施設復旧でロープなど購買事業の扱いもプラスになったといい、恩恵は大きかった。

佐々木運営委員長は「がんばるの取り組みで、共同作業は苦手で醜さもでたが、協同の意識が生まれたし必要性も分かった」と振り返る。高品質の養殖生産を目指し、それぞれの部会が話し合いを大事にして努力するほか、志津川と戸倉は漁業権が違つてもあつて切磋琢磨していると喜ぶ。

佐藤支所長は「これくらい豊かな湾はないと思う。養殖ばかりではなく、カツオの餌になるイ

継者は育っているが、足りない。だが、青年部や研究会は、カキのシングルシードやワカメの養殖、環境調査、観光面から力を入れる養殖現場体験などの活動が活発で、元気があるという。

「魅力ある漁業というのは収益が伴わないといけない。所得の向上は重要で、そのために漁場を再配分したし、後継者育成にも関わっている」と佐々木運営委員長は強調する。

漁場再編で品質向上 取扱43億円、震災前に戻る

震災という逆境をバネに高品質生産を目指し漁

場を再配分して足場を築き、この英断をがんばる養殖が後押しし復興を早めた形。土台にあるのは豊かな漁場、志津川湾の育みだ。

その志津川湾ではいま、国が日本の3カ所を進める持続的な資源、環境管理の手法を開発する調査研究の対象に選定され、東京大学などが調査している。世界最大の民間自然保護団体「世界自然保護基金(WWF)」の日本支部でも震災後、漁業経済調査や養殖の環境影響調査を実施した。

佐藤支所長は「これくらい豊かな湾はないと思う。養殖ばかりではなく、カツオの餌になるイ

継者は育っているが、足りない。だが、青年部や研究会は、カキのシングルシードやワカメの養殖、環境調査、観光面から力を入れる養殖現場体験などの活動が活発で、元気があるという。

「魅力ある漁業というのは収益が伴わないといけない。所得の向上は重要で、そのために漁場を再配分したし、後継者育成にも関わっている」と佐々木運営委員長は強調する。

親潮第1分枝の張出し平年並み 東北海区海況予報 水産総合研究センターが東北海区の7、8月海況予報をまとめた。①近海の黒潮主流の北限位置は平年並みやや北偏で推移②親潮第1分枝の張り出しは平年並みで推移③常磐沖の暖水塊は金華山沖の暖水塊に取り込まれ、常磐沖に冷水域が形成一との見通しだ。